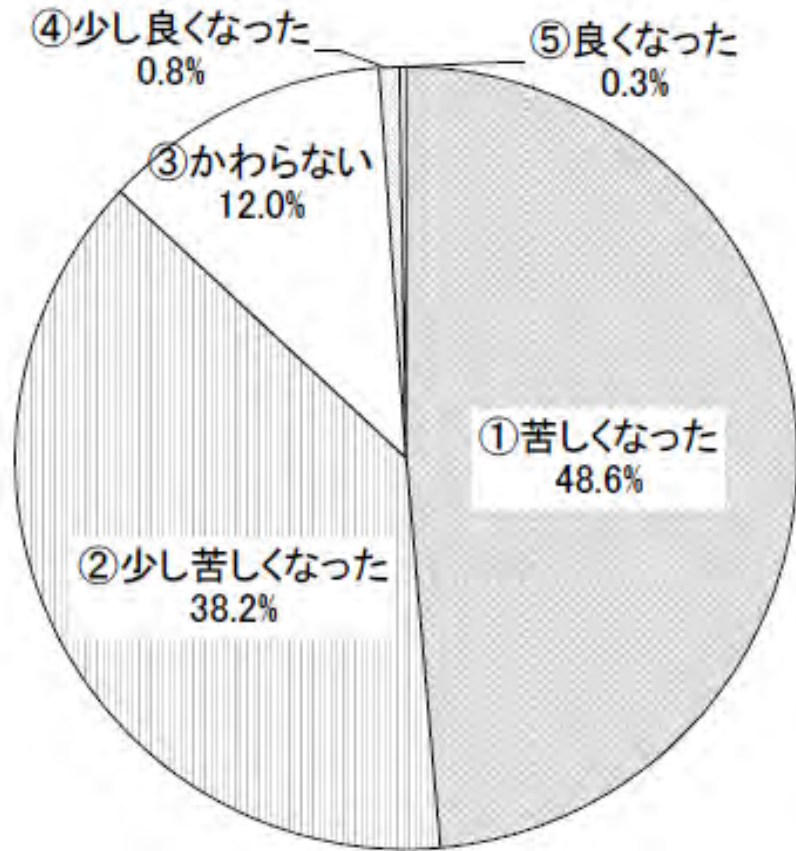


9割近くが「暮らし苦しくなった」

ここ数年、あなたの暮らしは
どう変わりましたか



日本共産党上越市議員団ニュース

No. 203 2009年10月11日

連絡先 橋爪 法一 548-3628 (吉川区代石)
樋口 良子 544-6802 (中門前3)
上野 公悦 530-2203 (頸城区中柳町)
平良木哲也 525-9096 (上中田)

◆ 農産物の収入減(米価の下落)

◆ アルバイト
先より自宅待
機の通告

◆ 何年もお金
で苦しい生活を
送っています

◆ 母子家庭のため病
院などへまわすお金な
し。食費、公共料金な
どで、やっとの生活

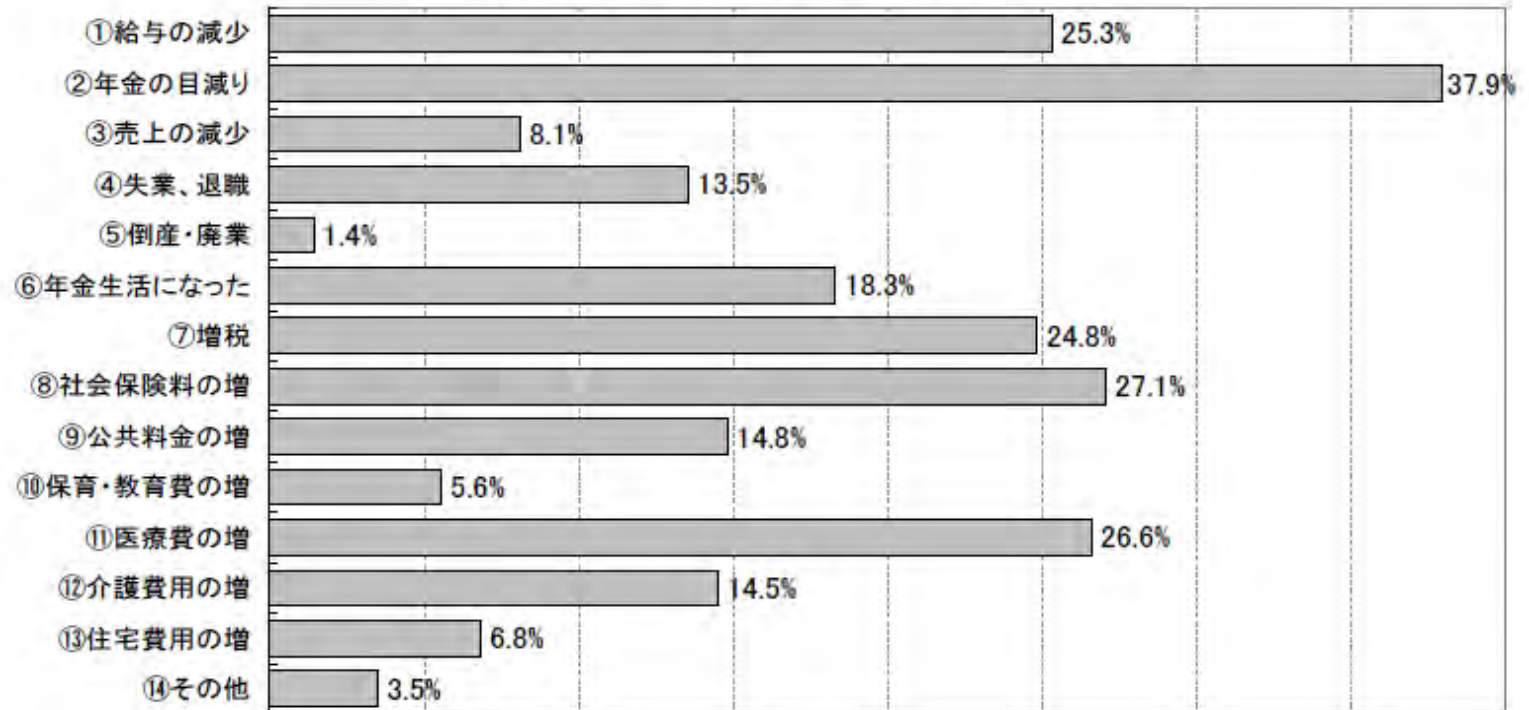
◆ 子どもが就職できない

◆ 子どもが派遣切りになった

◆ 特に若者の雇用対策に
力を入れてほしい

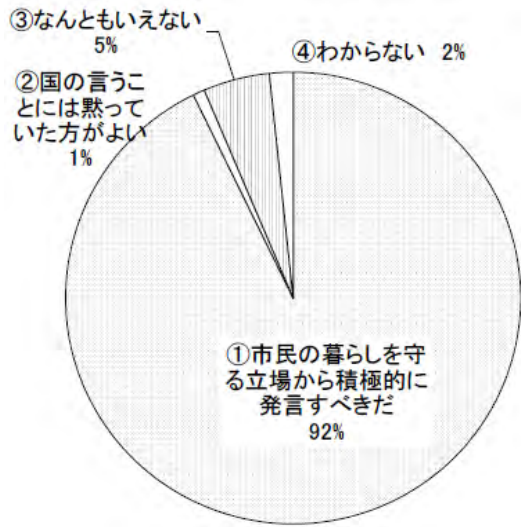
日本共産党が衆議院総選挙直前に
行った、「市民アンケート」は、60
人以上の市民の皆さんからご協力い
ただきました。心より感謝申し上げま
す。
それによりますと、回答者の9割近
くが「暮らしが苦しくなった」と答え
ています。また市政に対し、経済・雇
用対策の強化、子育て支援や暮らしや
福祉を守る施策の充実を強く求めてい
ることが改めて浮き彫りになりまし
た。
アンケートには、市民の皆さんの思
いがびっしりと書き込まれています。

暮らしが苦しくなった原因は

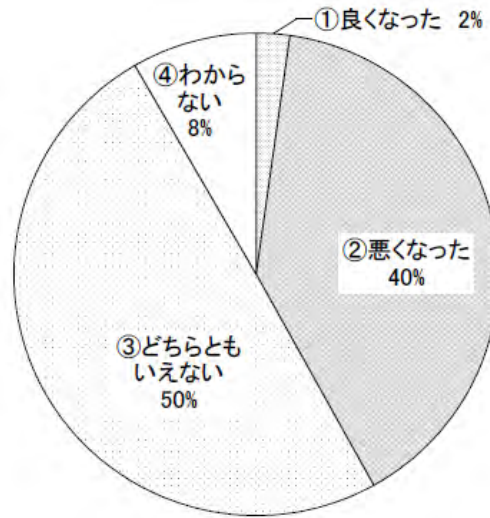


切実な声、びっしり

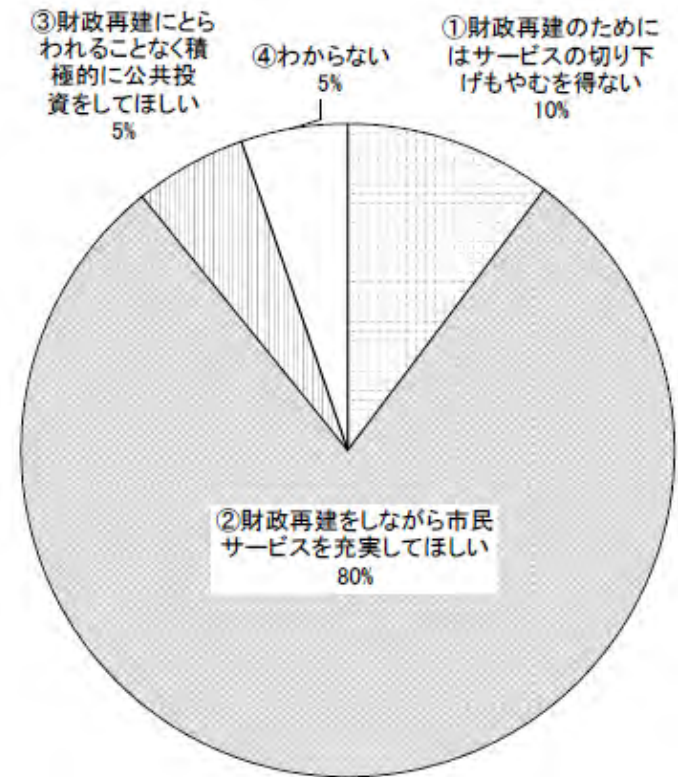
アンケートに寄せられた市民の皆さんの声 (一部)



市政と国政の関係は



合併後の市民サービス



財政再建と市民サービス

★保育園も先生がいろいろ変わり、信頼関係ができないまま次々と先生が変わります。よくなったという話は聞けてますか

●特に若者の雇用対策に力を入れてほしい

★車が乗れなくても通勤しやすいように！！

●若者が将来像を描ける街にしてほしい

★山間地は何でも後回し。不便なところを良くしていった合併の意味があるのでは。合併前に区毎にどんな取り組みをしていたか見直してみてもいい

●何によらず、(お金かかる、金かけたくない)の考え強い。市職員の末端の仕事をしていただいているが、軽の車のタイヤ交換すべきだが、予算が厳しいと替えてくれない。市長三役の給料減らすとか、もっと考えてやり方あると思う。民営へ移行できるものないか

◆直江津地区に商店の数が足りない。車の無い老人は買い物に困ります。高田地区より税金を安くしてほしい。

◆全てにおいて13区が取り残されている。
◆大きな中央集権から、木田庁舎中心の小さな中央集権になった。13区に予算決裁権を持たせ、決定権強化を。頭南・頸北・頸東・頸西に地域担当部長か副市長を配置し、地域振興強化を。

★公共施設の利用料(無料から有料化)がいろんなところで行われるようになった

●乳幼児の検診会場が遠くなった。公共施設などが旧市街地に集中され不便になった

★周辺(合併前の町村)へのサービス低下懸念市職員の減によることの職員の過労心配

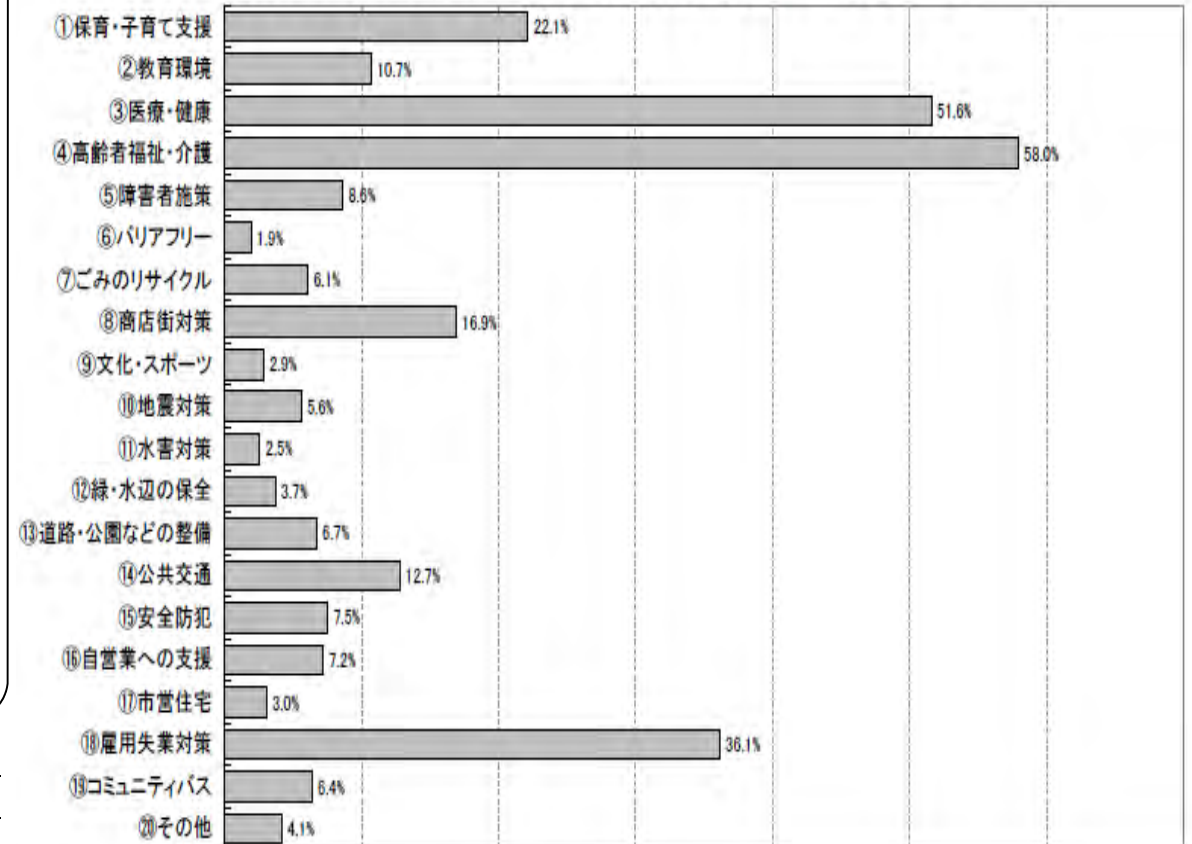
●旧町村の権限がなくなり、本所への機能が吸い上げられたため機動的でなくなった。本所も頭が固すぎる

●地域に活気が無い。旧地区総合事務所の周辺のさびれが目立つ

★公平の観点から、市民の多い旧上越市のサービスに合わせるといって、公の施設利用料やスクールバス料金を有料化した。進化する市政は、一番いいサービスを基準に折り合いをつけるのが本来である。郡部の水道料格差はどうするのか



暮らしやすいまちにするため改善・充実してほしいこと



★アンケートのまとめは数十ページにわたるため、すべてを掲載することができませんでした。ご入用の方は日本共産党議員団までご連絡ください。なお、橋爪法一・上野公悦・平良木哲也の各市議のホームページまたはブログに全文を掲載しています。そちらもご覧ください。